

山梨大学(医病)病院改修(中央診療系)予備工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
1	T-1	特記仕様書1 仮設工事について ・外部足場に用いる垂直養生は、メッシュネットで宜しいでしょうか。 ・仮設間仕切りA種のLGWはW=65で宜しいでしょうか。	1	・養生は必要に応じて設置するものとする。 ・W=65で宜しい。
2	T-4	特記仕様書1 環境配慮工事について ・アスベスト含有建材の除去工事に伴いアスベスト粉じん濃度測定を加えますか。	2	・成形板のみ除去のため不要とする。
3	T-5	工事区分表について ・建築工事で行う範囲での、既存床穴あけ(コアあけ)の大きさ、数これに伴う鉄筋探査は行いますか。新設ホ-ド壁、天井の穴あけ補強の数、大きさをお願いします。また、鋼製床の穴あけは有りますか。	3	・建築工事での床穴明けはない。 ・ホ-ド類の穴明け補強は図D-11、12による。 ・鋼製床の穴明けは床下配線取出し用の開口を設ける。
4	D-05	仕上表(改修前・改修後)について ・中央病歴室48の壁 木下地+有孔合板撤去後の壁の補修はどの程度でしょうか。全面補修でしょうか。同48の壁EP撤去とは全面ケンですか。 ・1階工事範囲の天井改修における撤去とは天井地下地までですか。ホ-ド、廻り縁のみですか。範囲をお願いします。 ・改修後の壁EPG【塗替え】の記入がない箇所が有りますが、既存壁は全てとして宜しいでしょうか。	4	・木下地+有孔合板撤去後の壁の補修は全面補修とする。 ・壁EP撤去は下地調整RB種とする。 ・1階工事範囲の天井改修における撤去とは天井地下地まで含む。 ・見え掛かりとなる面は全て塗替えとする。
5	D-06	2階平面詳細図(改修前) ・【撤去】【別途】以外は建築工事の撤去範囲と思いますが流し台、SP等の撤去後、壁の状況はどの様になりますか。 plaster補修塗りが有りますか。	5	補修を含む。
6	D-24	部分詳細図-2(改修後)について ・流し台2の巾寸法は図示の通りで宜しいでしょうか。2階平面詳細図では、ライニングが柱型～新設壁GBまでとなっています。 ・流し台3は、水栓位置がシンクの右側に取り付けるタイプの市販品同等で宜しいでしょうか。	6	・流し台2の巾寸法は平面詳細図を正とする。 ・流し台3は図D-24と同等の既製品とする。
7	D-25	外構図 ・既存樹木 一部【伐根】と有りますが、大きさ、本数をお願いします。	7	H=5m、C=80cm1本伐根とする。
8	S-01	耐震改修設計仕様について ・既存RC壁W15の配筋をお願いします。	8	・D10-200@(チドリ) タテ・ヨコ共とする。
9	S-03	軸組図(撤去・改修)について ・E通りの既存開口拡張後の補強はどの様に考えますか。	9	・補強は無しとする。既存鉄筋の切断面は防錆処理を行う。 ただし、拡張作業時に必要以上にハツリとってしまった場合は、図面S-01:(3)開口新設要領に倣い適切に補強を行う。